

# た + す + と

2010年11月

第15号

市民活動や地域活動をしている方、  
これから活動したいと思っている方に  
役立つ情報を隔月で発信しています。

## ●もくじ●

- P 2・3 多賀城市市民活動サポートセンター事業開催報告  
**たがさぼフェスタ2010**
- P 4 市民活動のちから  
**不登校や中退からの挑戦** ~NPO法人ミヤギユースセンター
- P 5 多賀城市市民活動サポートセンター事業開催報告  
**第2回『さぼせんカフェ』開催しました**  
たがサポブックレビュー  
**『寝ても覚めても市民活動論』**
- P 6 **たがサポ事業紹介**  
『たがサポ』とは？  
『たがサポ』の機能って？

速報!

## 今月のひとコマ



盛り上がる！楽しい！  
いきいき会議のお手伝い。

→詳しくは右のコーナーへ

会議を楽しく和やかに進めるアイテムにお茶やお菓子があります。会議中や休憩中にお茶やお菓子があると、参加者の緊張がほぐれ意見を言いやすい雰囲気をつくることができます。さらに甘いお菓子は疲労を適度にほぐすことができるので、おもしろいアイデアが次々と湧きでてくるかもしれません。

そんなときに利用できるのが茶器の無料貸出です。たがサポでは、スプーンやフォーク、コーヒーカップ、皿、グラス、電気ポットなど、お茶やお菓子を出すときに必要なものをそろえています。もちろん茶器の貸出は会議のお手伝いだけでなく、紙コップなどの余計なごみを出さないよう環境に配慮したサービスでもあります。

お茶の葉やお菓子などはお好みのものをご用意ください。1階受付窓口で貸出していますので、お気軽にお声がけください。

**速報!**

多賀城市市民活動サポートセンター事業開催報告

# たがさぼフェスタ2010

10月2日(土)、たがさぼ今年度最大のイベント『たがさぼフェスタ2010』を開催しました。地域づくりのヒントがいっぱいの「地域づくりテーマトーク」では、3つのテーマでそれぞれ活躍する方々をお招きし、お話をうかがいました。おいしいものに出会える屋台、アート体験ワークショップ、町内会活動や企業による地域貢献活動の紹介など、元気な地域づくりの活動に出会って、ふれて、つながる1日になりました。

日 時:平成22年10月2日(土)  
午前10時～午後4時  
会 場:市民活動サポートセンター  
参加者:のべ206名

## 地域づくりテーマトーク1

### 地域ぐるみで子育て

～子どもの居場所を考える～

[パネリスト]

特定非営利活動法人グループゆう

代表 中村祥子さん

特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘

仙台市鶴巻児童館

館長 高橋和恵さん

[コーディネーター]

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

伊藤浩子さん

配食サービスから活動を始め、ホームヘルプ、サロンの運営など、さまざまな地域ニーズに応えるサービスを生み出してきた『グループゆう』。障がい児の放課後の居場所づくりもまた「送迎のある放課後の遊び場がほしい」という保護者のニーズを知ったことをきっかけに始まりました。周辺地域だけではなく遠いところからも利用されています。それぞれの地域の児童館と情報交換をし、子どもが立ち寄れる拠点をつくり、普段生活している地域で安心して暮らせるよう働きかけも行っています。

一方、子どもの遊び場づくりの経験を生かし、児童館の運営を担っている『みやぎ・せんだい子どもの丘』の高橋和恵さんは、子どものころの遊びの体験を大切に活動してきました。子どもを取り巻く課題を解決するために、学校、民生委員・児童委員、町内会、行政などと連絡を取り合う関係を作っています。

地域ぐるみの子育てを実践するために、NPO、地域、行政、企業がそれぞれに持っている役割、ノウハウを生かしながら連携することの重要性が、お二人のお話からみえてきました。



## 地域づくりテーマトーク2

### 顔の見える地域づくり

～地域のきずなを考える～

[パネリスト]

片平地区連合町内会/花壇大手町町内会

会長 今野 均さん

多賀城市総務部交通防災課

松戸幸二さん

[コーディネーター]

多賀城市市民活動サポートセンター

工藤寛之

他地域の町内会と防災協定を結んだり、高層マンションの建設をめぐり、開発業者と安全協定を締結した実績を持つ一方で、仙台市の助成を受け、NPOや行政、学生を巻き込みながら住宅地にまちなか農園を運営する『花壇大手町町内会』。会長の今野さんからは、「その場限りのイベントではなく、日常的に住民同士がコミュニケーションを図れる場が必要。そのため活動の場所を求めるNPOや学生に場を提供しネットワークを深める仕組みを作っている」というお話がありました。

交通防災課の松戸さんからは、地域づくりに関する市民からの提案を実現できるよう行政も積極的に市民とコミュニケーションを図る必要性をお話していただきました。

そこに暮らす市民が日常的なきずなを深めることが結果的に災害に強いまちをつくれます。そのためどのような取り組みが必要か、パネリストからたくさんのヒントをいただいた有意義な時間となりました。

## 地域づくりテーマトーク3

### 暮らしの支え合い

～地域で暮らし続けるそのために～

[パネリスト]

特定非営利活動法人season 代表理事

デイサービスセンターなべさん家 代表 渡邊 晃さん

地域生活支援オレンジねっと 代表 荒川陽子さん

[コーディネーター] 社会福祉法人ゆうゆう舎/

多賀城市地域活動支援センターコスモスホール

所長 高橋 壮さん

渡邊さんは、多賀城市笠神地区に『デイサービスセンターなべさん家』を立ち上げる以前、介護施設で働いていました。介護の現場は厳しい環境にあることから、介護の仕事に理想を抱いた職員が現場とのギャップに愕然とし、辞めていくことも多いそうです。ご自身の経験から、NPOという仕組みを上手に活用することで従来の施設では制度上できなかったサービスを実現できることを若い介護士にも知ってもらいたいと話していました。

荒川さんは、仙台市泉区南光台に『地域生活支援オレンジねっと』を立ち上げ、地域に根ざした生活支援サービスを提供しています。もし地域の中でだれかが病気や子育てに悩んだときに他人事として見るのではなく、お互い様の関係で支え合うことができる地域性が大事だと荒川さんは言います。そのためにも普段から支援できる体制を整えておく必要があります。

多賀城でも支え合う“共助”の関係を強くすることで、よりよい地域づくりにつながっていくのです。

### にぎわいマーケット

にぎわいマーケットでは、市民活動団体が飲食物を提供し活動のPRを行いました。

今回のフェスタでは、天気にも恵まれ野外にブースを設けました。用意したものは完売。出店団体間での交流も深まり、今回のフェスタに文字通りの賑わいが生まれました。

[出店団体]

T. A. P. 多賀城

多賀城のトマトを使ったミネストローネ

アトリエぷるぷる

手作りのおこわとお茶

NPOゲートシティ多賀城

「おいしい多賀城の味」認定品の「多賀城碑」と

「多賀城物語」(コーヒー)

### 変身めがねワークショップ

学校、文化施設、商業施設などでアートワークショップを行っている『ビルド・フルーガス』。今回は頭や心の中で思い描いためがねを作るユニークなワークショップを行いました。講師はアスカオリのお二人。さまざまな色の紙テープで作った一風変わったオリジナルめがねをかけることで、普段のとは違う自分に変身!

代表の高田彩さんは「予想していなかったおもしろいめがねをたくさん作っているので驚きました」とワークショップの感想を語ってくれました。子どもから大人まで笑顔で楽しむ姿が数多く見られました。



### おらほのまちの活動紹介

多賀城市内46の自治会・町内会を対象にしたアンケートを行い、自慢の地域活動や課題点などをうかがいました。当日はご回答いただいた内容を展示しました。

回答の中には、夏祭りや文化祭など各地域の自慢の活動が目白押し。16年間にわたり地域の情報満載の会報を発行し続けている地域もありました。

一方、課題として多く寄せられた意見は「担い手不足」と「若い世代の参加の不振」です。この点については、高崎自治会や隅田会などが工夫をして解決していることもわかりました。

ご協力いただいた自治会・町内会のみならず、敬老会など大変忙しい時期にも関わらず、アンケートにご協力いただきありがとうございます。

### 企業による地域貢献活動紹介

テーマトークが行われた大会議室の隣、302会議室では東北労働金庫多賀城支店と北日本自動車学院から地域貢献活動の事例を紹介していただきました。

東北労働金庫多賀城支店には、NPOとの協力で生まれた体験型ボランティア「ろうきんパートナーシップ2010」の紹介と福祉作業所と協力して開発したノベルティグッズを紹介していただきました。また、北日本自動車学院には、「た+す+と」13号でも紹介した多賀城市内を走る多賀城おでかけバス万葉号の取り組みに関するパネル展示を行っていただきました。

来場者との交流はもちろん、同じスペースでブースを出していたNPOとの交流もあり地域への貢献を視野に入れた2社のユニークな取り組みを市民のみなさんに紹介することができました。今後の動向にも注目です。

地域づくりテーマトークの内容をはじめ『たがさぽフェスタ2010』の詳細は、11月上旬ごろ当センターホームページやブログでお伝えします。そちらもお楽しみに。

地域や社会の課題解決に取り組む団体をご紹介します

# 市民活動のちから

市民活動とは、地域や社会の課題を自主的に解決する活動です。このコーナーでは、行政や企業だけでは解決できない課題に取り組んでいる団体を紹介します。

## 不登校や中退からの挑戦

NPO法人ミヤギユースセンター

### ●卒業生は200人以上

ミヤギユースセンター(以下「ユースセンター」という。)が開いている教室には、40人以上の生徒さんが通い、学習に励んでいます。ここに通っているのは、何らかの理由で中学や高校で不登校になったり、高校を中退した青少年たちです。中学生には高校進学、高校生には通信制の高校を卒業できるような学習支援を提供し、高校中退者には、高校卒業程度認定試験(高卒認定試験)に挑戦し、次のステージへ進むためのサポートを行っています。

毎年「出発式」と名付けた卒業式を行い、これまで210人の生徒を高校・大学や社会などへ送り出しています。卒業した生徒さんからは、「ユースセンターがなければ今の自分はありませんでした」といった、感謝の手紙が数多く寄せられています。取材中、教室に飾っている卒業生の写真を見ながら、巣立っていった一人一人のことを熱心に語ってくれる代表の土佐昭一郎さんの姿がとても印象的でした。

### ●学習だけではないサポート

ユースセンターは、中高不登校・高校中退などに悩んでいる青少年の自立をサポートすることを目的に、平成13年9月に設立されたNPO法人です。当時、宮城県では不登校の生徒や高校中退者の受け入れ先が少なく、進路・進学の相談窓口や情報提供の場も少なかったそうです。その状況を改善するために土佐さんが中心となり団体を立ち上げました。

ユースセンターの活動の一つに学習支援があります。完全個別指導で行っているため、学習についていけなくなるという心配もなく、自分にあったペースで学習することができます。また不登校や引きこもりで学校に行

けない子どもが基礎学力不足にならないため、基本的な読み・書き・計算を中心に、将来の進学や就職に困らないように指導しています。さらに、生活習慣の指導についても配慮し、進学支援だけでなく就職を含めた個々の進路相談についても丁寧に応じています。

また、相談会も開催し、不登校の生徒さんの受入先の情報をはじめさまざまな進路の選択肢について年間200件以上の相談に対応しています。

### ●土佐さんから見た多賀城

多賀城市内からも不登校や問題を抱えた子どもがユースセンターに通っています。これまでは、年に1~2人だったのが年々増加傾向にあるそうです。全国的にみても、不登校は依然として大きな問題です。そうした状況に対応するため、行政と民間が協力し、不登校や中退した子どもとその親への支援を強化していく動きが広がっています。「多賀城でもそのような取り組みが必要なのではないかと土佐さんは考えています。

今後、ユースセンターでは、多賀城市内でも子どもの進学、就職に向けた個別相談を定期的で開催することを計画しています。「多くの進路先の情報を提供し、選択肢を増やしたい」と土佐さん。多賀城市を含めた仙塩地区でユースセンターがどのように活動をしていくのか、今後の展開に注目です。

NPO法人ミヤギユースセンター

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203

TEL&FAX:022-256-7977

Mail:miyagi\_yc@ybb.ne.jp

H P: <http://www.miyagiyouht.npo-jp.net/>



## 第2回『さぼせんカフェ』開催しました

「たがさぼフェスタ2010」の一企画として第2回『さぼせんカフェ』を開催しました。

当日は温かい飲み物と国産小麦粉を使った香ばしいクッキーを用意してお客さまを迎えました。

会場では、クッキーを作った障がい者の就労支援をしているNPO法人麦の会などのプロモーションビデオの上映会を開催。クッキーをほおぼりながら、実際に作っている様子がわかる映像に見入る方もいらっしゃいました。終了予定時間には、用意していたクッキーはすべてなくなるほど好評でした。

「たがサポに来たのは初めて。これを機に、またチラシコーナーを見に来ます」とうれしいお言葉もいただきました。

ほっと一息しながら、市民活動の情報にふれていただきました。



## たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



### 『寝ても覚めても市民活動論 ~ミーティングや講座の帰り道に読む35の視点』

著者：早瀬昇

発行：社会福祉法人大阪ボランティア協会

発行日：2010年3月1日



★A1市民活動・NPO全般の棚にあります

「NPO経営とJリーグの関係」。両者にはどのような関係があるのでしょうか。Jリーグでは、あえて自分たちの本拠地を「ホーム」、ファンのことを「サポーター」と呼び、喜びややすさを共有しながらファンとチームの一体感をあおるさまざまな仕掛けがなされています。また、選手や監督は「ファンの支えによって…」といった表現もよく使っています。

プロスポーツチームと市民活動団体の共通点

は、自分たちの活動に共感した人たちの支持・支援が大きな意味を持つ組織だということです。支援者を増やすという点で、Jリーグの取り組みの中に市民活動団体にとってヒントとなるものがあるのです。

このように本書は、身近なテレビ・新聞で話題になっている事件、スポーツ、政治などを素材にし、市民活動に関わる視点、考え方をまとめたものです。活動資金の集め方、関わる人の生かし方、後継者問題の解決など、市民活動を進める上でのヒントがたくさん見つかる1冊です。気軽にどこからでも読めるコラム集なのでぜひ手にとってみてください。

■たがサポ文庫  
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらえる機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



# たがサポ事業紹介

…平成22年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。  
みなさんのご参加をお待ちしています！



## ●たがサポ出前プロジェクト

◆開催日：平成22年11月21日(日)

明月にあるポリテクセンター宮城で実施される「たがじょう市民市」に出前します。地域で活躍している市民活動団体の活動紹介やたがサポの活用方法がわかるパネルなどを展示します。たがサポブースにもぜひお立ち寄りください。

## ●地域づくりパワーアップ講座

市民活動団体をはじめ地域づくりをしている方を対象に、団体運営や活動に役立つノウハウを提供します。今年度は残り1回の開催です。日程・テーマが決まり次第、ホームページやブログでお知らせします。

## ●地域づくり いちから塾

◆日時：平成22年12月4日(土)  
10:30~12:00

地域や社会のお役に立ちたい方へ地域づくりの事例やNPOのいろはをお伝えします。たがサポの活用方法がわかるガイドツアーもあります。

### ◆主な内容：

- ・地域づくり事例紹介
- ・NPOのいろは
- ・棚卸しワークショップ
- ・たがサポ館内ガイドツアー

### ◆定員：10名

(先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)

### ■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的にしています。

開館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで  
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで  
休館日：毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分  
駐車場・駐輪場があります

### ■『たがサポ』の機能って？

#### ①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)  
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)  
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室  
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)  
コピー機(10円/枚)

#### ②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン  
市民活動に関するさまざまな情報があります。  
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、  
助成金情報、ボランティア情報、パソコン  
(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応

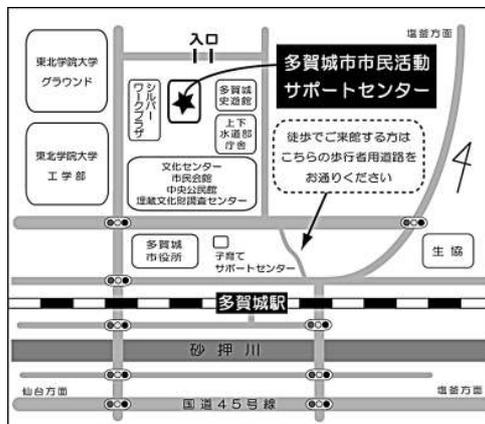


多賀城市市民活動サポートセンター  
公式ホームページ  
<http://www.tagasapo.org/>  
事務局スタッフブログ  
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック  
してくださいね

### ■たがサポは皆さんに支えられています

- 自動販売機の設置  
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売(株)
- 印刷作業室のコピー機  
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行：多賀城市市民活動サポートセンター  
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3  
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日：2010年10月20日

□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター